
平成30年度原子力防災研修 受講者募集案内

原子力防災基礎研修

平成30年5月

福岡県 総務部 防災危機管理局 防災企画課

はじめに

昨年度まで、内閣府からの委託により実施しておりました「原子力防災基礎研修」ですが、平成30年度から福岡県が主体となり実施します。

この原子力防災基礎研修は、原子力防災業務に必要となる放射線に関する基礎的な知識の習得を目的として実施するものです。

1 原子力防災基礎研修の概要

(1) 目的

原子力防災業務に初めて従事される方を対象とし、最低限身につけるべき放射線の基礎及び放射線測定器の取扱い等の資機材に関する基礎知識等について研修を通して習得し、能力の定着化を図ることを目的とします。

(2) 重点項目

- ① 原子力災害の特徴の理解
- ② 放射線と放射能、内部被ばくと外部被ばくへの防護の理解

(3) 対象者

- ・ 地方公共団体
- ・ 指定公共機関
- ・ 指定地方公共機関等の職員

(4) 難易度

原子力災害対策業務に初めて従事される方

(5) 定員

50名程度

(6) カリキュラム

別添1に「原子力防災基礎研修カリキュラム」を示します。

(7) 開催場所・申込締切日等

① 6月22日（金）

場 所：福岡県福岡市博多区博多駅前 2-20-1
リファレンス大博多ビル 11F（会議室：SMR1120）

申込締切：6月8日（金）

② 6月27日（水）

場 所：福岡県福岡市博多区博多駅前 2-1-1
福岡朝日ビル B1F（会議室：13-14室）

申込締切：6月13日（水）

(8) その他

受講者の受講料、テキスト代は無料です。

会場までの移動交通費は各自で御負担ください。

昼食は各自で御用意いただくか、近隣の施設を御利用ください。

2 受講申込要領

(1) 申込方法

別添2の申込票に必要事項を記入の上、下記3の申込先に電子メールで送付してください。

※電子メールをご使用になれない場合は、FAXで送信してください。

(2) 受講決定の通知

期間内に申込された方を、原則定員の範囲内で受け付けます。受講が決定された方には、研修開催1週間前までにメールもしくはFAXでお知らせいたします。

※なお、申込多数の場合、定員の範囲内で申込者の調整をさせていただく場合がありますので、御了承願います。

3 申込先、問合せ先

研修の申込み、お問合せは、下記にお願いいたします。

申込先、問合せ先

福岡県福岡市博多区東公園7番7号

福岡県総務部防災危機管理局

防災企画課 原子力安全対策係

担当 中島

申込メールアドレス：bouki@pref.fukuoka.lg.jp

電 話：092-643-3115

FAX：092-643-3117

以 上

原子力防災基礎研修 カリキュラム

時間	分	項目	内容
9:25 ~ 9:30	5	開講挨拶	
9:30 ~ 10:00	30	研修の目的と原子力防災	- 原子力防災基礎研修の目的 - 原子力発電の概要 - 核燃料サイクルの概要 - 原子力災害とその特殊性
10:00 ~ 10:10	10	休憩	
10:10 ~ 11:20	70	放射線と放射能の基礎知識	- 身の回りの放射線 - 放射線と放射能（放射線の特徴、種類） - 放射能、放射線の単位 - 放射線の人体への影響
11:20 ~ 11:30	10	休憩	
11:30 ~ 12:00	30	放射線被ばく防護の考え方	- 原子力災害の被ばくの経路 - 被ばくの防ぎ方 - 被ばくの管理
12:00 ~ 13:00	60	昼食	
13:00 ~ 13:20	20	放射線被ばく防護の考え方(続き)	- 放射線測定 - 放射性物質の除染
13:20 ~ 16:30	190	放射線測定器等の取扱い実習	- 放射線測定器の操作法 - 身の回りの放射線測定 - 防護服等の着脱方法 - 空間線量率の測定 - 汚染検査と簡易除染方法 ※各実習班ごとに適宜休憩を入れる
16:30 ~ 16:40	10	休憩	
16:40 ~ 17:00	20	質疑・理解度確認	- 復習、質疑応答 - 理解度確認の実施 - アンケートの記入
17:00 ~ 17:10	10	閉講	- アンケート、理解度確認回収 - 事務連絡